



9月に、第1回読書会としてビブリオバトルが行われました。それぞれの生徒の「この本を、もっとみんなに読んで欲しい」という気持ちがよく伝わり、とても興味を引かれる会となりました。今回は、そのバトルでチャンプ本に選ばれた本と、読書会に参加した生徒の感想を紹介します。



1年4組 福溜 瑛太さんのおすすめの本

『凍りのくじら』 辻村 深月 著

藤子・F・不二雄にあこがれ、作品を愛する父は5年前に失踪した。高校生の理帆子は、夏の図書館で「写真を撮らせてほしい」と言う一人の青年に出会った。戸惑いつつも、他とは違う内面を見せていく理帆子。そして同じころに始まった不思議な警告。みんなが愛する素敵な道具が私たちを照らすとき——。

後半の驚きの真実に驚かされる青春小説です。



2年1組 井上 凧咲さんのおすすめの本

『ポッコちゃん』 星 新一 著

ユーモアのある着想やシャープな風刺にあふれ、光り輝く小宇宙群。日本SFのパイオニアである星新一のショートショート集。一度読んでみると忘れられないどんでん返しにあなたもとりこになる！「月の光」「暑さ」「冬の蝶」の作品が入っています。



2年5組 芝 陸斗さんのおすすめの本

『天気の子』 新海 誠 著

3年前に大ヒットした新海誠監督の映画「天気の子」の原作小説。舞台は天候の調和が狂った東京、家出した高校一年の帆高は、不思議な能力を持つ少女・陽菜に出会う。運命に翻弄される少年と少女が自らの生き方を「選択」する物語。ハラハラドキドキの冒険を楽しんでみてはいかがでしょうか。

ビブリオバトルには初めて参加しましたが、自分の紹介したい本について伝えたいことをしっかり発表できたのでとてもよかったです。人の発表を聞くのも凄く楽しくて、新しい発見がたくさんありました。普段は朝読書の時しか本を読みませんが、もっと読んでみたいと思いました。

自分が聞いたことのない面白そうな本にも巡り合うことができました。発表者の熱意のこもったスピーチを聞くことができ、自分もこんな風に熱弁できるような本にたくさん巡り合えたらいいなと感じました。(1年生図書委員)

色々な人が本を紹介することで、自分の読まないジャンルの本を知ることができ、良い時間になりました。紹介された本の中で、気になった本があったので、本屋さんで見かけたら読んでみたいなと感じました。普段の生活であまり本を読まないで、日常生活でも読書を習慣づけたいと思いました。(1年生図書委員)